

鉄道の必要性



令和4年6月24日



兵庫県

Hyogo Prefecture

鉄道の必要性

- ① 通勤・通学・通院など地域住民の日常生活に不可欠
- ② 災害時にはリダンダンシー機能を発揮
- ③ 観光にとっても重要 等

JR西日本が公表した輸送密度 2千人/日未満路線

兵庫県: 4路線 6区間

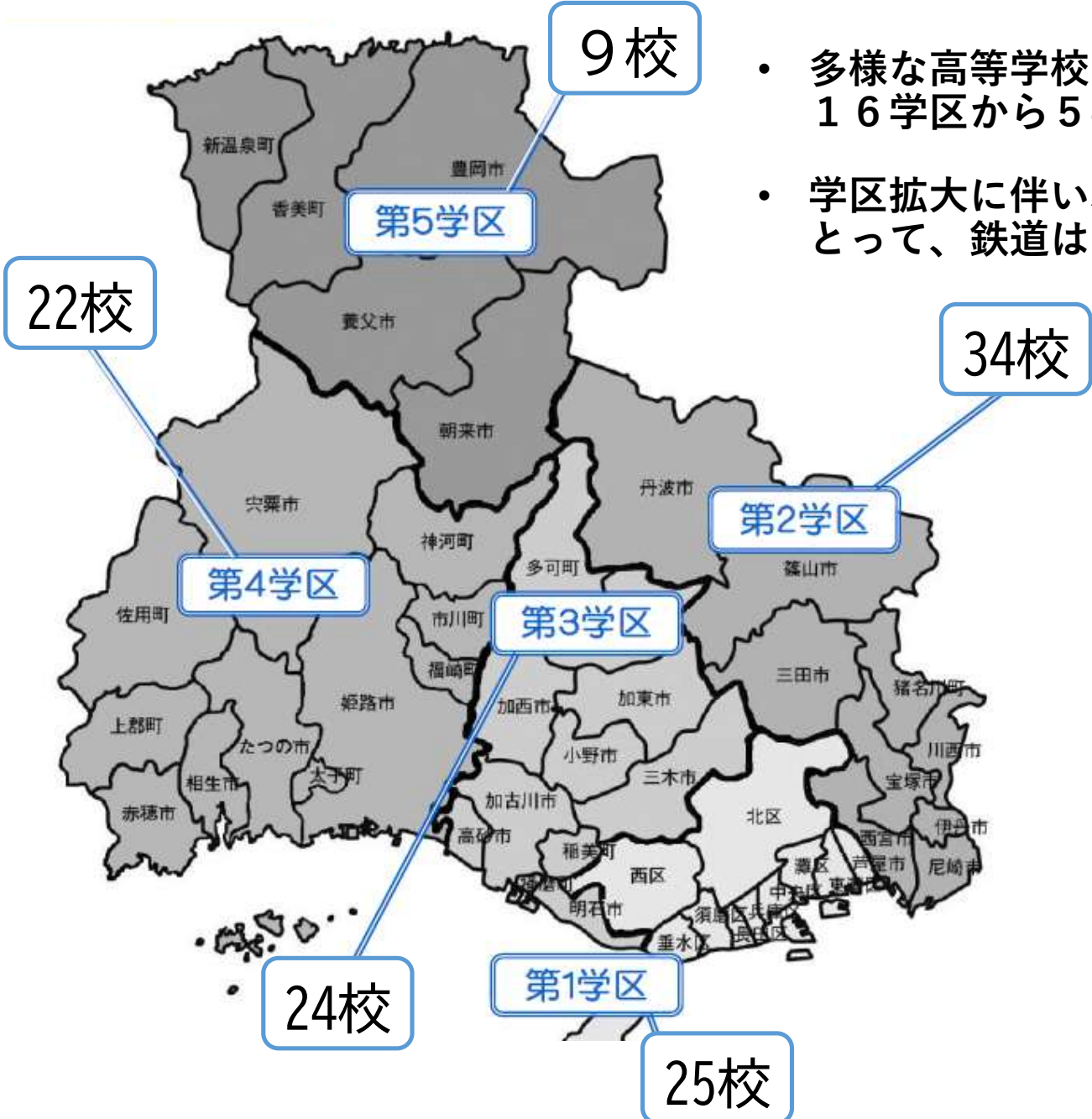
路線名	区間	輸送密度
		2019年度
1 山陰線	① 城崎温泉～浜坂	693 (人/日)
	② 浜坂～鳥取	921 (人/日)
2 加古川線	③ 西脇市～谷川	321 (人/日)
3 姫新線	④ 播磨新宮～上月	932 (人/日)
	⑤ 上月～津山	413 (人/日)
4 播但線	⑥ 和田山～寺前	1,222 (人/日)



2019年度 輸送密度

- 8,000人/日以上
- 4,000人/日以上～8,000人/日未満
- 2,000人/日以上～4,000人/日未満
- 2,000人/日未満

○通学・通院を担う鉄道 < 公立高校の通学区域（学区） >



- 多様な高等学校の選択を可能とするため、16学区から5学区に再編（H27）
- 学区拡大に伴い、長距離通学する高校生にとって、鉄道はかけがえのない交通インフラ

< 沿線の高校及び病院 >

【山陰線】



岩美病院
小児/脳神経/泌尿等
110床

鳥取赤十字病院
循環器/脳神経等
350床

鳥取中央病院
産婦/泌尿等
518床

鳥取東高校
在籍生徒数 : 843人

鳥取西高校
在籍生徒数 : 846人

鳥取工業高校
在籍生徒数 : 407人

【凡例】
 ○○高校
 ○人 (うちJR利用:○人)
 R3在籍生徒数



通学状況① (諸寄駅)



通学状況② (国府駅→豊岡駅間)



通学状況③ (豊岡駅)

【加古川線】

< 沿線の高校及び病院 >

↑至 氷上高校 (黒井駅)
278人 (うちJR利用:150人)
※全県学区

大山記念病院
脳神外/循内/人工透析内等
199床

西脇病院
産婦/心臓血管外等
320床

西脇高校
779人 (うちJR利用:63人)

西脇工業高校
584人 (うちJR利用:94人)

【凡例】
○○高校
○人 (うちJR利用:○人)
R3在籍生徒数

加東市民病院
小児/循環器内等
139床

↓至 小野高校 (神鉄小野駅) 在籍生徒数 : 908人



通学状況 (西脇市駅)

< 沿線の高校及び病院 >



通学状況①（新野駅）



通学状況③（新野駅）
※小学生も利用（寺前小）

【凡例】

○○高校

○人 (うちJR利用:○人)

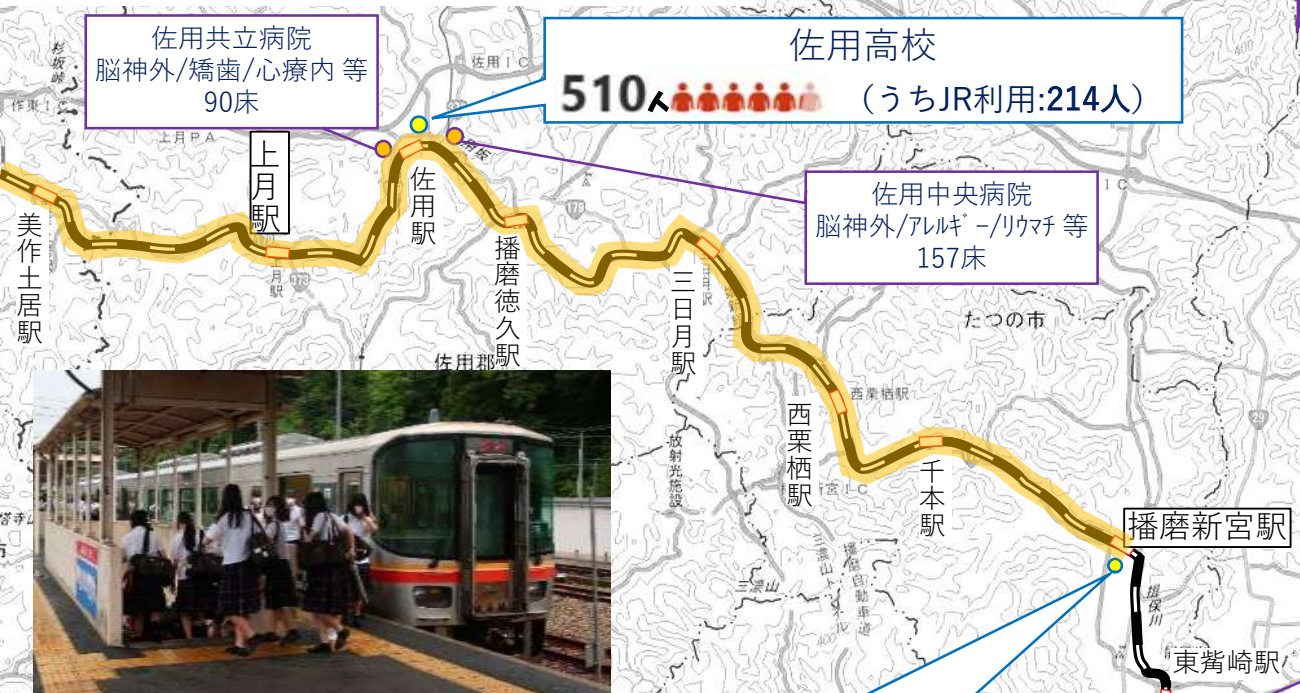
R3在籍生徒数



通学状況②（竹田駅）

< 沿線の高校及び病院 >

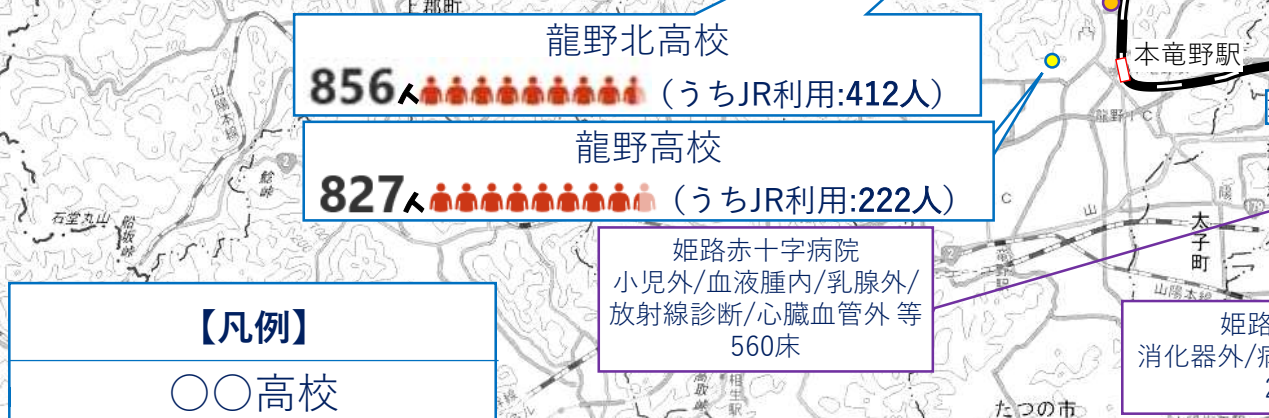
【姫新線】



通学状況② (本竜野駅)



通学状況① (佐用駅)



【凡例】

○ ○ 高校

○ 人 (うちJR利用:○人)

R3在籍生徒数

姫路駅周辺の高校で総計5千人以上の学生

○災害時のリダンダンシー機能

< 阪神・淡路大震災時に使用された迂回ルート >

※ 西日本旅客鉄道資料より
 人員は1週間の日平均、上下計の数値

和田山駅乗換人員※
 震災前 期間最大
 590人/日 ⇒ **6950人/日**

谷川駅乗換人員※
 震災前 期間最大
 260人/日 ⇒ **8600人/日**

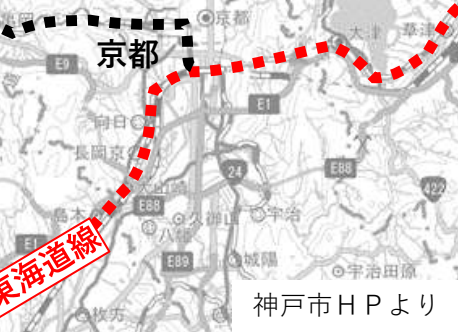
1月～3月まで不通



震災後の谷川駅の状況



震災後の和田山駅の状況



神戸市HPより



地図出典：国土地理院地図
 写真出展：「よみがえる鉄道」
 阪神・淡路大震災鉄道復興記録編纂委員会

JRローカル線は、

- ①地域住民の日常生活に不可欠
- ②災害時にはリダンダンシー機能を発揮

